



令和6年度
学校教育目標

『刮目』～刮目の生徒・刮目の教師～

かけがえのない自己の人生に目を開き、
たくましく自己実現していく生徒の育成

＜めざす生徒像＞ 「刮目の生徒」

- ① 学ぶ意欲を持ち、主体的に進路決定できる生徒（自主）
- ② 自らを鍛え、基本的な生活習慣を身につける生徒（剛健）
- ③ 思いやりを持ち、ともに感動しあう気品のある生徒（高雅）

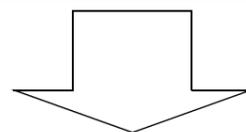
＜学校経営の理念＞

- ① 生徒第一主義→「生徒一人一人のために学校はある」
- ② 授業で勝負→「学習指導・生徒指導の基本は授業」
- ③ 組織で対応→「チーム東金中として」

＜あるべき教師像＞「刮目の教師」

- ① 生徒理解に努め、信頼される教師
- ② 研究熱心で、授業改善に努める教師
- ③ 率先垂範を心がけ、生徒と共働できる教師

学校生活に「満足感」が持てる学校へ



4 安心・安全な環境づくりの推進

- 毎月の施設・設備点検を確実（見て・触って・負荷をかけ）に行い、修繕・改修が必要な場合は、関係機関と連絡をとり、早期に対処する。また、死角をつくらない校内外の環境を整える。
- 危機管理マニュアル等（災害・引き渡しカード・避難所の運営等）を常に見直し、家庭・地域と連携して災害に強い学校づくりを進めるとともに、危機管理体制の整備を進める。
- 年度当初に交通安全教室を開催するとともに、定期的にPTA・地域と連携して登下校指導にあたり、交通安全指導の充実に努める。
- 実効性のある避難訓練を実施するとともに、具体的な事例をあげながら日常に潜む危険を予測し、回避する能力を育成する。
- 東金中学校いじめ防止基本方針に基づき、職員の共通理解のもと、早期発見・早期対応を図る。また、道徳科等をとおして人権教育を推進する。
- 学校管理下における生徒のケガや事故防止に努めるとともに、事故発生時は、管理職・養護教諭と連携（報告・相談・連絡）をとり、迅速に対処する。（ケガ等の程度にかかわらず、保護者には必ず連絡をとる。）
- 食物アレルギーに関する事故防止のため、養護教諭・栄養教諭との連携を図るとともに、生徒個々の正確な情報把握のもと、慎重に給食指導や授業・校外学習等を行う。

5 特別支援教育の推進

- 特別な支援を要する生徒に対して、個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成し、一人一人のニーズに適切に対応する。
- 定期的にケース会議を実施したり、保護者（合理的配慮の申出）や外部機関と連携し、個々の生徒に適した指導・支援をする。
- 特別な支援が必要な生徒への理解を深めるとともに、特別支援教育の視点から学習指導・生徒指導を行うよう考慮し、全校体制で特別支援教育を推進していく。

6 教職員の資質・能力の向上

- ベテラン教職員はこれまでの経験から、若手教職員に教育理念や指導技術等を伝え、若手教職員はベテラン教職員から、それらを盗み、自分の合ったスタイルが醸成できる「職員室文化」を確立する。
- 生徒や保護者に対して、的確な言葉を使い、例示をあげたりして、指示や説明が分かりやすいようにし、トラブルの要因にならないようにする。
- 若手教職員を中心に積極的に要請訪問を実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』の活用を通して授業改善を図る。
- 教職員の服務に関するガイドラインや各種危機管理マニュアルを熟知するとともに、モラルアップ委員会の提言のもと、不祥事を根絶する。

＜生徒の日常実践＞

- ㊦ 挨拶
- ㊧ 時間
- ㊨ 身だしなみ
- ㊩ 掃除

＜教師の日常実践

（ホウ）報告 → （レン）連絡 → （ソウ）相談 → （ホウ）報告＞

◇学習指導

- 教材研究
- 魅力ある授業の展開
- 個に応じた指導・支援
- 生徒が主役の授業

◇生徒指導

- 正確な情報で
- すばやく
- 誠実に
- 継続的に

◇危機管理(さしすせそ)

- ㊰ 最悪を想定して
- ㊱ 慎重かつ
- ㊲ 速やかに
- ㊳ 誠意を持って
- ㊴ 組織で対応する